

## 令和3年度 第2回橋本地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：令和3年6月24日（木） 午後7時～8時30分
- ・場 所：緑区合同庁舎 4階 集団指導室1・2
- ・出席者：15名
- ・傍聴者：1名

1 開 会 進行：事務局

2 あいさつ 安藤代表

3 協議事項等

(1) 昨年度の取組等について

事務局から前年度の橋本地区まちづくり会議の取組について概要説明があった。

【主な説明事項等】

- ・昨年度は、各委員から地域課題等を上げてもらい、「地域コミュニティ」、「防災」等カテゴリー分けを行い、解決に取り組む団体と期間等を整理し、順序立てて協議を進めていた。
- ・昨年度、全体会の開催を年8回予定していたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出等の影響で5回になってしまった。特に年度末の1、3月が開催できなかったため、協議が途中となってしまった事項がある。
- ・まちづくりを考える懇談会の開催を2月に予定していたが、緊急事態宣言の発出等の影響で中止となってしまった。

事務局説明後の質問等はなかった。

(2) 今年度の全体会（部会協議）の進め方について

安藤代表から、今年度のまちづくりを考える懇談会は、10月26日（火）午後7時からとの予定であると報告があった。また、懇談会のテーマを検討することなどにより、7月15日（木）に全体会を開催することを提案し承認を得た。

また、事務局から前回役員会で発案された以下の意見等について、事務局から概要説明があった。

8050（はちまるごうまる）問題、 エスニック問題、 SDGsについて、  
無電柱化の推進について、 都市計画道路 宮上横山線、 旧神奈川医療少年員跡地について

その後、今年度の全体会のテーマ等について、2班に分かれ協議を行った。各班の協議内容の結果報告は以下のとおり。

【報告内容】

[ 1班 ]

- ・まちづくり会議に参加している各団体の共通の課題として、役員等の後継者不足があげられる。また、役員などの団体の中心となり活動を行っているキーパーソンの高齢化も課題である。高齢化・少子化等の社会的問題も背景にあり、一朝一夕で解決する課題ではない。
- ・昨年度、通学路の課題や駅北口の道路・歩道、交差点の課題が多くあがった。これらの課題について、関係課から説明を受け、まちづくり会議で再考し、行政にお願いすること、地域でやることやできることを整理していくことが重要であると思う。

[ 2 班 ]

- ・協議でテーマは5つあがった。
- ・昨年度、懇談会のテーマ案で、リニア駅の開発に関係した児童・生徒の愛着が持てるまちづくりは継続して協議した方が良い。
- ・狭隘道路や高齢者、子どもといった交通弱者の事故防止のために無電柱化は有効だと思う。
- ・昨年度、課題としてあがっていた橋本駅北口のペDESTリアンデッキへのアクセスや、横断歩道がない駅ロータリー内の横断について、担当課と意見交換は有効だと思う。
- ・8050問題は他人事ではない、自治会等を中心に地域として支援を検討する必要があると思う。
- ・SDGsを活動に取り込むのも、団体のアピールに繋がるのではないか。

( 3 ) その他連絡事項

事務局から「構成団体活動状況等連絡票」の活用について説明があった。

( 4 ) その他

安藤代表：1班の協議の中で、宮上小学校の通学路に設置された交通安全に関する路面標示用シートの事例が話題となった。まちづくり会議での協議の参考となるため、次回全体会に備え事務局で概要等を確認しておいて欲しい。

事務局：承知した。

5 閉 会 事務局